



# 青き楓

島高だより  
平成30年1月号  
(通巻第142号)  
長崎県立島原高等学校  
編集：研修広報部

## 校長室から

### 「動く轆轤に動かざる芯」

校長 渡邊 孝経

「動く轆轤に動かざる芯」この言葉は校長室に入って正面の壁に色紙が掲げられているが、薩摩焼の陶工第14代 沈 壽官 先生が本校で講演をされた時に書いていただいたものである。

今の世の中は時代の変化の只中にあり、未来の予測が困難な時代と言われている。教育現場でも学習指導要領の改訂をはじめとして、様々な改革が行われようとしている。今回の改革は戦後最大規模の改革であるといわれており、グローバル化の進展やAIをはじめとする科学技術の進化といった、大きな社会変化が背景にある。

本校においてもどのようにこの改革に向き合っていくかが課題である。そのような時、「動く轆轤に動かざる芯」という言葉が心にしみる。日本中の高校が改革によって激しく動こうとしている。確かに変わらなければならないことがたくさんある。

この改革の中にあって、島高の人間教育の芯、つまり118年の伝統により磨かれてきた「島高魂」と島高で学ぶ者の精神の根幹となる伝統の「質実剛健」、「学究的で礼節を尊ぶ」気風は、これからも鍛えながら育て続けていきたい。このことこそが島高生の精神の基盤であり、このことばの意味であると思っている。

## 2年中地区学習交流会

2学年進路指導部

1月7日(日)～1月8日(月)に本校を会場として2年生の中地区学習交流会が開催されました。諫早高校、大村高校、西陵高校、口加高校、五島高校、上五島高校、対馬高校、そして島原高校から難関大学合格を目指す総勢124名が集い、国語・英語・数学の講義を受けました。

1日目の最後には10名程度の班に分かれて交流会も行われ、それぞれの学校生活について情報交換をし、将来の夢について語り合いました。生徒の感想に「他校の生徒から刺激を受けることができ、とても実りの多いものになった。」「他校生徒との交流で学んだ学習方法をこれからの学習にしっかり生かせるようにしようと思った。」「他校生徒の意識の高さを痛感した。受験ではこのような人たちと競わなければならないので、学習内容を見直し、工夫した上で学習量を増やさなければならないと思った。」などの言葉があり、普段はできない貴重な経験をして良い刺激となったことが窺えます。この学習会は来年度、大村高校で開催される予定です。



交流会の様子

## 70回生 受験シーズン真っ最中!

3学年主任 小森 貴

70回生205名が、1月13・14日に実施された『大学入試センター試験』を長崎大学で受験してきました。

前日に行われた出陣式では、田浦PTA会長様、校長先生から激励の言葉をいただきました。また、出発の際は、PTAの皆さんや1・2年生に盛大に見送っていただき、勇気づけられました。本当にありがとうございました。

現在は、センター試験の受験も無事に終わり、各自が次の目標へ向かって準備をしているところです。これからまだ受験は続きますが、いろいろな方々から応援してもらっていることを胸に、最後まで頑張ってくれることと思います。これからも70回生の応援をよろしくお願いいたします。



### 今後の日程

- 国公立大学前期日程試験 2/25(日)～
- 前期日程試験合格発表 3/1(木)～
- 公立大学中期日程試験 3/8(木)
- 国公立大学後期日程試験 3/12(日)
- 中期・後期日程試験合格発表 3/20(火)～

## 主な部活動実績等



### 剣道部

平成29年度全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選  
 女子団体 **優勝** ※全国選抜大会出場決定  
 最優秀選手 松田美結女  
 優秀選手 児島 那歩  
 男子団体 **準優勝** ※全国選抜大会出場決定  
 優秀選手 黒川 雄大

### ソフトテニス部

第47回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ2018  
 シングルス部 **優勝** 山外 輝 ※全国大会出場決定

### ラグビー部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会  
 ラグビーフットボール競技(10人制)  
**優勝** ※九州大会出場決定



## 2月の主な行事予定

- |        |                                           |         |                                            |
|--------|-------------------------------------------|---------|--------------------------------------------|
| 3日(土)  | 土曜講座(1・3年)<br>進研マーク模試(2年～4日)              | 17日(土)  | 土曜講座(全学年)<br>小論文模試(2年)                     |
| 6日(火)  | 推薦入学者選抜検査<br>1・2年: 自宅学習<br>3年: 3時間目まで短縮授業 | 22日(木)  | 学年末考査(1・2年～27日)                            |
| 7日(水)  | PTA評議員会・専門委員会                             | 23日(金)  | 特別編成授業終了(3年)<br>卒業研究発表会(3年)<br>卒業式式場設営・大掃除 |
| 10日(土) | 土曜講座(全学年)                                 | 25日(日)～ | 国公立大学前期日程試験                                |
| 14日(水) | 雲仙100年の森卒業記念植樹                            | 28日(火)  | 卒業証書授与式予行・卒業記念品贈呈式<br>同窓会入会式               |
| 15日(木) | 学年末考査時間割発表<br>部活動休止(～26日)                 | 3/1     | 第70回卒業証書授与式                                |

# 地学講座発表会

理数科1年担当 寺井 邦久



2018年1月18日（木）の6・7時間目を利用して「地学講座」の研究発表会を行った。生徒は自分の家がある周辺に新たなジオサイトを開拓して、パワーポイントを使ってプレゼンテーションをした。雲仙市、島原市、南島原市のメンバーが均等に入るようにクラスを10班に分け、それぞれが地元自慢を競った。深江扇状地を紹介した内容には、兄のドローンで撮影してもらったという広大な深江扇状地の空撮も紹介され、驚きの声が上がっていた。生徒は郷土のすばらしさに改めて気づいたようだ。この活動を通して島原半島ユネスコ世界ジオパークを自分たちの手で普及していこうという意気込みを感じた。



# マラソン大会

体育科主任 稲本 康弘

1月30日（火）、第40回校内マラソン大会を実施しました。寒空中、島原市営陸上競技場外周を男子は8km、女子は5km走りました。

このマラソン大会に向けて、12月から体育の授業で練習をしてきました。生徒はアップダウンの激しいコースに苦しい表情を見せながらも、懸命にゴールを目指し、練習の成果を充分発揮してくれました。マラソンはよく人生に例えられますが、苦しい時にも辛抱して足を交わしていくと、いつの間にかゴールが近くなり、苦しみ（困難）も終わってしまう。そんな疑似体験ができたマラソン大会になったのではないのでしょうか。今後の人生に活かしてくれるものと期待しています。



ゴール後は学校に戻り、PTAの保護者の方々から準備を始めてくださった温かい豚汁を頂きました。具たくさんでとっても美味しく、疲れた体を癒すことができました。炊き出しにご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



**第40回校内マラソン大会上位入賞者**

<b>【1学年・男子の部】</b>	<b>【1学年・女子の部】</b>
1位 松尾 玲玖 (1-6)	1位 増田 七海 (1-6)
2位 吉田 侑嗣 (1-1)	2位 中村 奈央 (1-2)
3位 喜多 涼真 (1-3)	3位 永吉 涼夏 (1-6)
<b>【2学年・男子の部】</b>	<b>【2学年・女子の部】</b>
1位 堀川 歩武 (2-5)	1位 植木 美和 (2-2)
2位 鹿島 宙 (2-1)	2位 岩永 遥佳 (2-3)
3位 黒川 雄大 (2-1)	3位 森瀬 詩乃 (2-5)

# 平成29年度 遠隔教育サミット in 長崎

教頭 小川 由香

1月22日（月）・23日（火）に、「平成29年度遠隔教育サミット in 長崎」が開催され、22日（月）は本校を、23日（火）はホテル南風楼を主会場として、講演や公開授業等が行われました。



長崎県は、文部科学省の「多様な学習を支援する高等学校推進事業」を受託し、ICT（情報通信技術）等を活用した遠隔教育の調査研究に取り組んでいます。本校は、平成27年度から県教育委員会の研究指定を受け、遠隔教育システムを使用した「論理コミュニケーション」を受講しています。

今回の公開授業では、「島原の地域活性化」をテーマに、各自が作成した「文章の設計図」をもとに意見発表を行いました。通常は三重県にある日本論理コミュニケーション技術振興センターから授業を配信していただいていたのですが、今回の授業は、横浜市にある慶應義塾大学日吉キャンパスからの配信となりました。講師の齋田有里先生だけでなく、慶應義塾大学の梅嶋真樹准教授も一緒に授業を担当してくださいました。梅嶋准教授の発表内容の根拠を求める鋭い質問にも、2年4組の生徒たちは落ち着いてしっかりと答えていました。参加された他県の先生方からも、島高生の礼儀作法を含めた様々な面でのすばらしさについてお褒めの言葉をいただきました。

本校での日程終了後、会場をホテル南風楼に移して、情報交換会が行われました。開会に先立ち、放送部が作成した学校紹介ビデオと合唱部の歌が披露されました。「島原の子守歌」と司馬遼太郎さんが作詞された「決意」の2曲で、生徒たちの歌声がその歌詞と共に心に染みわたり、感動的なステージとなりました。

当日講演をされた文部科学省初等中等教育局企画課教育制度改革室の田中義恭室長は、ご自分も合唱をなさっていた経験をお持ちで、本校生の歌声をととてもほめてくださいました。遠方から公共交通機関を乗り継いで、はるばる島原までお出でいただいた他県の先生方でしたが、心の中に温かいものを持って帰っていただけたのではないかと思います。

# 生徒会誌『楓』編集奮闘記！

「楓」編集長 長野 沙樹 （2-4）

現在、私たち生徒会は、生徒会誌「楓」発行に向けた準備の最終段階に入っています。二学期後半から動き出し、特に力を入れたのは、生徒会企画の内容です。毎年恒例の「楓辞苑」は昨年よりパワーアップし、「島原半島図鑑」や「まいにち、島高！」などの新たな企画に挑戦しました。みんなで一生懸命考え、納得のいく案を形にしていくことはとても達成感がありました。詳しい企画の内容は、ぜひ本誌でご確認ください。生徒会誌「楓」は二月末に発行予定です。少しでも多くの方に楽しんで頂ければ幸いです。

